

HOTeye

心と心のかよいあう福祉の情報誌

ホットアイ

2025 Vol.119

- P1 **特集** 福祉人材養成校紹介
これからますます重要になる
介護・福祉人材の育成
学校法人小林学園 鳥取社会福祉専門学校
- P5 チャレンジ福祉の仕事
学校法人小林学園 鳥取社会福祉専門学校
学生・公共職業訓練生
- P6 福祉の専門職をめざして「介護福祉士」
同じ目標を持つ仲間と学び、成長する喜び
学校法人小林学園 鳥取社会福祉専門学校
外国人留学生
- P7 福祉人材センター情報
福祉の職場で働きたい方と人材を求める
事業所との橋渡しをしています

- P8 ボランティア・市民活動センター情報
とっとりボランティアバンク登録団体紹介
「鳥の劇場」
- P9 ボランティア・市民活動センター情報
優しい人・優しい地域づくりで、
みんなでいい街にしよう！
産後ケア やわらかい風
- P11 ことぶき高齢者情報
第1回 因伯ねりんピック
- P12 ことぶき高齢者情報
いきいきシニア
- P13 鳥取県社会福祉協会からのお知らせ

国家資格「介護福祉士」を目指す意欲を支える

校長先生、教師、一般学生、留学生、訓練生みんなが、介護福祉士を目指して「がんばろう」と熱意が伝わってきます。
(地域の老人クラブの人たちと植えた校内の花壇の前での一枚)

学校法人小林学園 鳥取社会福祉専門学校

鳥取市浜村温泉にほど近い、浜村海岸に並行して走る国道9号線沿いの
小高い丘の上に介護福祉士養成校の「鳥取社会福祉専門学校」があります。
鷲峰山を背後にして、180度のパノラマで日本海を望む景観は美しく、
1994(平成6)年の開校以来、高度な専門知識と技術のみならず
その雄大な自然の中で「人間性豊かな介護福祉士」の養成に努めています。
一般入学生から社会人学生、外国人留学生と幅広く受け入れ
鳥取県東・中部を中心に、県内外の福祉事業所などに
福祉人材を送り出しています。

生活支援技術の実技では、
様々な状況で「食事介助」
の演習を行います



これからますます重要になる介護・福祉人材の育成



鳥取社会福祉専門学校は、鳥取県内で唯一学生募集をしている介護福祉士養成校で、開校して以来、1500人余りの介護福祉士を輩出しています。そして2016（平成28）年には、「介護福祉士実務者研修事業」を開始しており、介護福祉士養成に特化した専門学校ともいえます。

理事長である小林達広校長は、「本校では、介護福祉士に必要な知識・技術の習得はもとより、高齢者や障がいのある方をはじめ、接するすべての人々に対して、本人の人間

性を尊重し、心の痛みがわかり、幸せを願う健やかな心を持った介護福祉士養成に努めています」と、介護の資格の中でも唯一の国家資格である介護福祉士として、人間性の大切さを話します。

豊かな人間性を育む 様々な取り組み

学生が机上の勉強以上に手応えが感じられる介護実習は、2年間で450時間組まれ、実践的な技術の習得はもちろん、いろいろな利用者の施設職員の方々との関わりを通じて、人間としても大きく成長できる機会となっています。

そして、一般入学生、社会人学生、外国人留学生という年齢も国も様々な学生が同じ志を持ち、切磋琢磨することで、互いの人間性を高め合っています。

また、地域との交流も大切に行っています。老人クラブの人たちと花壇に植栽する「花いっぱい運動」の実施、「鳥取しゃんしゃん祭り」や地元気高町の「貝がら節祭り」などにも参加



少人数制で「介護過程」の授業を受ける学生たち

することで、地域の人たちとの交流や伝統・文化を肌で感じ取ることができます。さらには毎年、気高中学校の生徒が来校しての「福祉体験」交流を行うほか、働き方や生き方などをテーマに年1回開催される「気高中学校トークプログラム」へも地域住民とともに参加して、人としての幅を広げています。



学校法人小林学園
鳥取社会福祉専門学校

こばやし たつひろ

小林達広

校長(理事長)

2年間の学生生活を 応援するしくみ

鳥取社会福祉専門学校では、学生と教員の良好なコミュニケーションを通じて、よりよい学校生活を実現するために「チューター制度」を取り入れています。学生を定人数のグループに分け、担当教員を各グルー

プに配置し、学習面や生活面、就職活動、進路相談から個別的な相談にも素早く対応しています。

学生と最も近い関係にあり、学校生活のすべてに亘って良きアドバイザーとなるのがチューターです。当校はクラス担任制ですが、さらにチューター制度を導入しているため、担任はもとよりチューター教員も個別に対応ができ、入学から卒業までの2年間、安心して学校生活を送ることができる体制を整えています。

また、学年に関係なくグループ編成しているので、学生同士の交流や助言がクラスメイト以外にも気軽に行えます。そして、チューターごとの活動もあり、活気ある学校生活へとつながっています。



ベッドメイキングの演習



ミャンマーからの留学生も食事介助の演習を日本語で話しながら行います

留学生は、日本語学校で「日本語能力試験」のN2相当レベルに達した学生を受け入れています。今年度は、ミャンマーの留学生15名を受け入れており、過去には、インドネシア、ベトナムの留学生を7名受け入れた実績があります。

また、留学生に対する学習支援として、一定の講義以外に補習講義を組み込み、授業や資格取得のきめ細かな助言を行い、安心して学校生活や日常を送ることができる環境づくりを支援しています。

資格取得の意欲に応える支援制度

鳥取社会福祉専門学校では、一般入学生と、県から委託を受けた公共職業訓練の訓練生、そして県内社会福祉法人に採用された外国人留学生が学んでいます。

一般入学生のうち新卒学生のほ



施設の入所者へのレクリエーションとなる実技体験「赤青ボール転がし」を、学生自身が楽しみながら指導を受けています

とんどは、「介護福祉士修学資金貸付事業」などを活用して学費の自己負担は少なく学べますし、職業訓練生は国と県の施策により、また外国人留学生は法人の支援も併せて、自己負担は少なく学ぶことができます。

さらに職業訓練生に対しては、令和7年度から県独自の施策として「鳥取県介護福祉士修学資金貸付制度」が開始され、支援が拡充しています。修学費月額5万円、教材購

入費年間8万円が貸与され、卒業後、鳥取県内で介護福祉士業務に3年間従事すると返還免除が受けられます。

介護福祉士というプロフェッショナルの自覚を

介護が「体力的にきつい、大変」という印象がなかなか払拭されない現状ですが、それは「介護の仕事」と、介護福祉士という資格が価

値あるものとして積み上げられてこなかったことに原因がある」と、介護過程・認知症の理解などを教える花原伸子先生は話します。



花原伸子先生

そして、「誰でもできる仕事」〈資格があっても無くても同じ〉ではなく、他人様の生活を支えながら命と人生に関わる仕事だから〈誰でもできない仕事〉と理解される必要があると、学生に伝えています。学校で介護の基本を学び、社会に出て経験を積みながら継続的に学び、その人らしい幸福の在り方を支える生活支援のプロフェッショナルとして求められる介護福祉士に近づいていくことを期待しています」と話します。

生活支援技術・介護制度などを教える中原大輔先生は、「机上の勉強の時も対象者を意識しながら学ぶこと、実技でもやり方だけではなく、なぜそうするのかの根拠を理解することが、介護福祉士として求め

られます」と話します。

そして、「校外学習や実習、特別活動などでの地域の方との交流の機会に、普段の授業では見えない意外な一面を見ることがあります。知らない人でも自然な声かけができていたり、手をさしのべる細かい気配りをする姿など、人とかかわることが好きなんだと嬉しく思



レクリエーション体験「手合わせ」の指導を受ける学生たち

える」と中原先生は話します。

また、卒業生が学校を訪れてくることがよくあり、「悩みながらも介護の楽しさや、やりがいを話す姿に成長を感じられることが喜びです」と笑顔を見せます。



中原大輔先生

介護福祉士は、介護を必要とする人の生活を支えながら一人ひとりに寄り添い、その笑顔を引き出す専門職です。心のつながりも感じられる魅力あふれる仕事であること、小林校長をはじめ先生たちは伝えていきます。

小林達広校長からのメッセージ



通称「コバガク」の学生たちは、年齢も様々、国籍も様々ですが、全員「介護福祉士」という同じ志を持つ仲間同士なので、すぐに打ち解けて、お互い助け合いながら和気あいあいとした雰囲気です学校生活を送っています。

また、異年齢・異文化交流は、今まで知らなかった世界を発見することができ、人としての幅も広がります。

介護福祉士のやりがいのひとつは、「人の役に立っている」「自分が必要とされている」という自分の存在感を実感できるところです。

みなさんも「介護福祉士」という志を同じくする仲間と本校で共に学び、実習やボランティアを通して色々な人と出会い、喜びや楽しさを分かち合い、時に悲しみを経験して、心豊かな人間へと成長してみませんか。

たくさんの人たちが、あなたの笑顔を待っています。

【概要】

- 所在地／鳥取県鳥取市気高町日光969-1
- 開設日／1994(平成6)年4月
- 運営主体／学校法人小林学園
- 職員数／10名
- 取得資格／介護福祉士、レクリエーション・インストラクター、専門士
- 定員／40名(昼間部・共学)
- 修業年限／2年
- 利用相談窓口／当該施設、運営主体



Challenge チャレンジ福祉の仕事

学校法人小林学園
鳥取社会福祉専門学校

福祉分野の質的变化や制度改革などにより、福祉施設などではさまざまなキャリアや資格をもつ人材が求められ、それに応じて働きがいをもって福祉の仕事に新たにチャレンジしている人たちがいます。ここでは、福祉分野の仕事に就労することを目指し、情熱を燃やしている人たちを紹介します。

実技が多く丁寧な学べて、国家資格取得への対策も徹底

学校法人小林学園「鳥取社会福祉専門学校」

2年生

かわた せら
河田 星来さん



家族が介護の仕事をしていた時期に、「大変な仕事だけど感謝の気持ちをもたえる、とてもやりがいを感じる仕事」だと聞いていた河田星来さんは、「私も誰かの役に立ちたい。やりがいのある仕事をしたいと思うようになり、介護福祉士を目指しています」と話します。



その介護実習では、施設の利用者とのコミュニケーションを大切に、利用者一人ひとりの状態や趣味、生活歴だけでなく思いを大切にしながら応対をするようにしています。そして自分の課題を記録し、次に実践していくためにはどのようにするのかを考え、今後の実習に繋げることも大切にしています。

「本校は実技が多く丁寧に学べることや、国家資格取得に向けての対策が徹底しています。また学校行事も多く、1・2年生の仲も深まり、楽しい学校生活になっているところが魅力ですね」と、河田さんは笑顔を見せます。

そして「私の将来の夢は、学校生活で学んだことを実際に現場で活かし、利用者と家族に寄り添える介護福祉士になることです」と、河田さんは目を輝かせます。また、「介護の人材不足の現状を知り、自分がその一助になればと思う、介護福祉士を目指している」と話す河田さんに、頼もしさを感じながら、将来が楽しみに思えてなりません。

世代・国籍を超えて助け合いながら楽しく学べる場

学校法人小林学園「鳥取社会福祉専門学校」

1年生

きたやま いくえ
北山 郁恵さん

子育てが終わろうとしていた頃、義父の身体に異変が起き、だんだん歩行が困難になりました。そして転倒し、一人で起き上がれなくなりました。その時、北山郁恵さんは、「何もできず、どうしたら良いのかも分かりませんでした」と悔やみます。そんな時、子どもから手が離れ、やり切った思いと区切りとして、27年間勤めた会社を退職し、次はどんな仕事に就こうかと考えていたところ、この年齢でも学校に通い資格取得ができ、福祉職場に就けると、職業安定所から勧められ本校に入ったと、入学の経緯を話します。

北山さんは、公共職業訓練制度を利用して入学したので、入学金・授業料が無料です。また、今年度新設された「鳥取県介護福祉士修学資金貸付制度」(修学費用・額5万円、教材購入費用年間8万円を貸与)も利用され、「経済的にとても助かります」と笑顔を見せます。

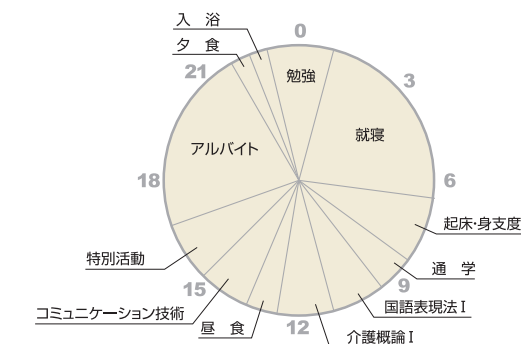
入学してまだ1か月余りの北山さんは、「介護福祉士になるためには、身体のしくみ、食事関連のこと、認知症の知識など、専門的な知識と技術が必要で、この年齢でついて行けるのか不安ですが、これからの生活に役立つ色々な知識が吸収できるので、楽しみながら学んでいます」と微笑みます。



そして、「学校では、先生や事務の方々、そして先輩方もやさしい人ばかりで、分からないところなどを丁寧に教えてくれます。また、ミャンマーの留学生、社会人学生、新卒学生など、様々な年代の人たちと関わり、友だちになった人たちと、介護福祉士国家資格の全員合格を目指して、励まし合い、切磋琢磨しながら学んでいます。」「何十年ぶりの学校生活はとても楽しい」と話す北山さんは、「まずは介護福祉士の資格を取得して、利用者の方や家族に信頼され、自分も周りの人も笑顔でいられるような介護福祉士になりたいです」と、意欲を見せています。

福祉の専門職をめざして「介護福祉士」

同じ目標を持つ仲間と学び、成長する喜び



学校法人小林学園「鳥取社会福祉専門学校」

1年生 チョウスライン さん(ミャンマー出身26歳)

介護福祉士は、日常生活を営むのに支障がある介護福祉士を有する人に対して、専門的知識と技術で心身の状況に応じたケアを行うとともに、要介護者および介護者(現場職員)に介護に関する指導を行う、介護の資格の中でも唯一の国家資格です。そして、介護業界では人手不足が加速し、さまざまな対策が行われる中、そのひとつとして外国人を介護職員として採用する事業所や施設が増加しています。

介護・福祉の道をめざして
日本の鳥取へ来た動機は何ですか

誰もが歳を重ねるにつれて、キャリアを持つべきだと思っています。私は、母国の学校を卒業して最初に考えたことは、どんな仕事で自分に合うのかということでした。そして祖母が亡くなる前、私に「自分の手で人の命を救え」と言ったことを思い出しました。その言葉に惹かれ、私は介護福祉士の道を選び、介護(留学)の在留資格で日本の鳥取へ来ました。

介護福祉士の仕事のやりがい・
魅力をどのように考えていますか

介護は単純な仕事ではなく、人間関係を大切にする仕事です。利用者の日常生活をサポートしながら、利用者の



笑顔が見えたり、感謝の言葉を聞けたりすることで、この仕事にやりがいを感じます。心から温かい感謝の言葉を聞けるのが、この仕事の魅力だと思います。

実際に介護福祉士の勉強を
始めたときの印象はどうでしたか

最初は、専門用語が多くて大変でしたが、勉強を進めるうちに、介護の現場で役立つ知識であることを実感し、面白くなってきました。専門知識と現場経験を組み合わせることで、より質の高い介護を提供できるようになるので、介護の仕事にやりがいを感じるようになりました。

学ぶうえで大切にしていることは
どのようなことですか

利用者一人ひとりの生活歴などの背景やニーズを理解し、共感することです。利用者とのコミュニケーション時や、困難な状況での感情をコントロールすることが難しいと感じることがありますが、状況に応じた冷静な判断ができるよう努めています。

学校生活でやりがいや手応えを
感じるのどんな時ですか

同じ目標を持つ仲間と意見交換をしたり、協力して学び合ったりすること



で、チームワークの大切さを実感できることは大きなやりがいです。そして、この養成校で学んだ知識やスキルが社会で役立つと実感した時に、学んで良かったと感じると思います。

将来の夢、
展望をお聞かせください

職場の同僚と強い関係を築き、利用者の生活を最大限にサポートできる介護福祉士になりたいです。介護の現場では、認知症ケアやリハビリテーション、終末期ケアなど、専門的な知識と技術が求められています。今後は、さらに専門的なトレーニングや資格取得が重要になりますので、専門性を高めることでキャリアの幅を広げていきたいと思っています。

鳥取県福祉人材センターのご案内

福祉の職場で働きたい方と 人材を求める事業所との橋渡しをしています

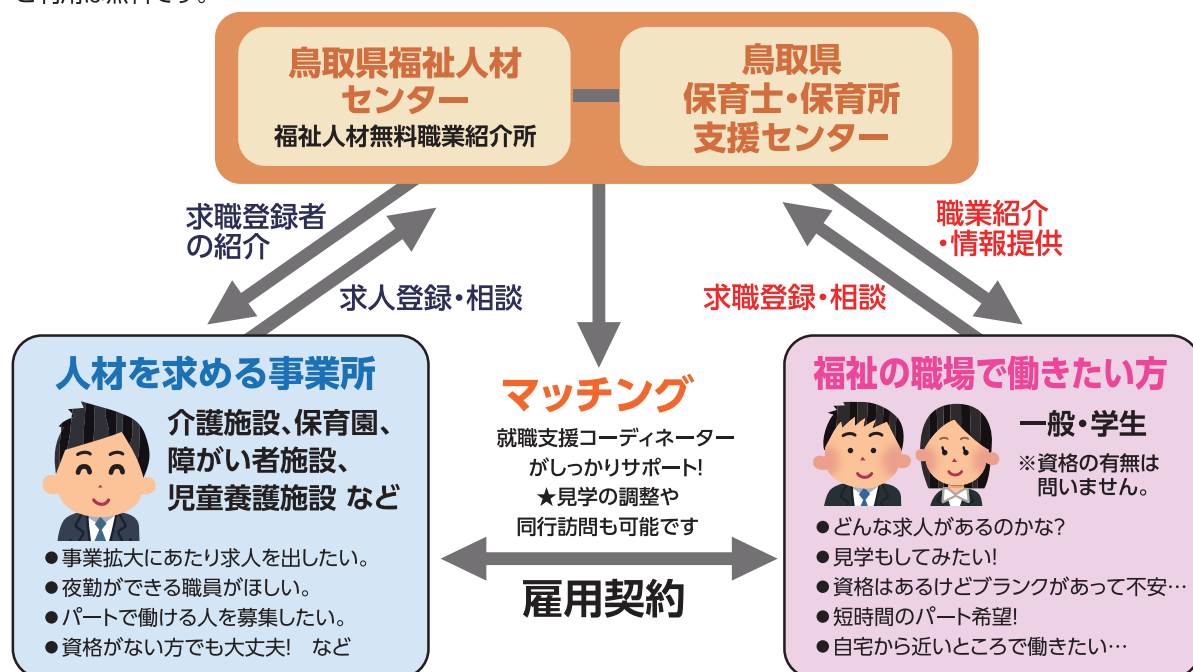
鳥取県社会福祉協議会（鳥取県福祉人材センター）は、職業安定法に基づく無料職業紹介事業（厚生労働大臣許可）をはじめ、福祉人材の確保・育成・定着に関わる総合的な取組を行っています。

【無料職業紹介事業許可番号13-ム-010001】

■無料職業紹介事業

福祉の職場で働きたい方、求人情報を知りたい方には、求職登録や職業紹介、求人情報の提供を行います。

また、人材を求める事業所には、求人条件に該当する求職登録者の紹介など、求人者と求職者双方のニーズに応えます。ご利用は無料です。



福祉の職場で働きたい方への職業紹介の流れ



人材を求める事業所への就業あっせんの流れ



就職後の定着や
キャリアアップのご相談も

まずはご相談ください／

鳥取県福祉人材センター

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5

TEL (0857) 59-6336 FAX (0857) 59-6341

【開設日】月～金 8:30～17:00 (祝日、年末年始は除く)

鳥取県保育士・保育所支援センター

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5

TEL (0857) 59-6342 FAX (0857) 59-6341

【開設日】月～金 8:30～17:00 (祝日、年末年始は除く)

専用サイトで求職・求人の登録・求人票の閲覧ができます。

福祉のお仕事

福祉のお仕事

検索



とっとりボランティアバンク 登録団体紹介

鳥の劇場

「とっとりボランティアバンク」はボランティア活動に関心を持っている方が活動に参加する“きっかけ”を提供するため、県内の生活支援や災害ボランティアを中心にした情報を収集・発信しています。

バンクには「ボランティア活動をしたい」個人と「ボランティア活動をしたい／ボランティアを募集したい」団体が登録しています。このコーナーでは登録団体についてその活動や想いを紹介します。

[ホームページ] <https://www.torivc.jp>



この春完成の新施設

演劇を通じていろんな人や体験に出会おう

鳥の劇場は、鳥取市鹿野町の廃校になった小学校と幼稚園を劇場に変えて、2006年から演劇活動をしています。

「鳥の劇場」という名前は、劇団名でもあり、場の名前でもあります。この時代、日本、鳥取、鹿野町という環境の中で、演劇や劇場の可能性を見つめ、社会に対して我々のできる本質的な貢献は何かを考えながら、作品創作上演、県外国外での上演、国際演劇祭の開催、教育活動、学校との連携、障がいと関わる演劇創作などを行っています。

演劇やアートの力への信頼、「ミニミニ」の新しい未来を作りたいという思いでつながった国内外の多くの人たちとのネットワークが、私たちの活動を支えています。2025年春には、大道具や小道具、衣装の製作機能、倉庫機能、カフェを備えたアネックスが完成しました。2026年で活動開始から20周年を迎えます。

「鳥のボランティア」の活動を通じて、一緒に鳥の劇場を楽しみませんか？

鳥のボランティアという名で、多くの方にさまざまなお手伝いをいただいています。主な内容をご紹介します。

●鳥の演劇祭運営サポート

毎年秋に「鳥の演劇祭」という国際演劇祭を開催しています。今年は日本・韓国・韓国の作品が集う「ベッセト演劇祭」も同時開催で、イギリスからも二作品、国内からも魅力的な作品が揃います。四週間の開催期間中を中心にいろいろ

な活動があります。

【民泊準備】

演劇祭スタッフのために空き家を民泊として用意します。地味で暑い活動ですが、演劇祭の下支えをする重要な仕事です。鳥の劇場のスタッフとも「ミニミニ」をとりながら活動します。

【カンパニー接遇】

どの劇団も5日程度滞在して作品作りをしますので、各種お手伝いをさせていただきながら、創作現場の様子を知ることや、俳優やスタッフとの交流もできます。

【字幕操作】

外国の芝居には日本語字幕を、日本語の芝居には英語、中国語、韓国語などの字幕を提供します。その機材操作をお手伝いいただきます。本番の操作なので緊張感のある活動ですが、緊張も楽しめるという方におすすめです。

【カフェの手伝い】

毎年人気の活動です。カフェスタッフやお客様との交流を楽しみながら、盛り付けや料理のサーブなどを担当します。



「鳥の演劇祭」のパーティの集合写真

創作に参加

〈いっしょにやるプログラム〉として、演劇作品に演者として参加できる事業もあります。

【おとなな劇場 ※要参加費】

65歳以上の方に参加していただく演劇創作事業です。演じることや声を出すことが好きな方を募集しています。夏頃から少しずつ練習を重ね、毎年三月に発表公演を行なっています。昨年度の最高齢は90歳の女性でした。

演劇は観るのも楽しいですし、ボランティアとして参加することで日常生活では得られない体験や交流、そしてたまらないワクワク感を味わうことができます。大きな声を出したり、人との交流を深めることは、より良いコミュニケーションを築くうえで重要な役割もあります。ぜひ一度、鳥取市鹿野町の劇場にお越しください。事前にご連絡いただければ、施設や活動についてご案内いたします。



おとなな劇場の様子

認定NPO法人 鳥の劇場

ボランティア担当 松下朋花
【問合せ先】

住所 鳥取市鹿野 18-2-1
電話 0857-84-32608
メールアドレス
volunteer@birdtheatre.org

産後ケア やわらかい風

優しい人・優しい地域づくりで、
みんなでいい街にしよう！

産後ケア「やわらかい風」は、鳥取県庁から徒歩2分のところにある築80年の古民家を拠点に、鳥取市のほか、岡山県西粟倉村、兵庫県新温泉町との事業契約で、主に母子デイケア、母子ショートステイ、母乳外来、乳児の一時預かりなどのケアメニューを行っています。分娩の取り扱いのない助産所（産後ケア施設）として2016（平成28年）に開設し、いまでは、地域食堂や地域交流活動の開催、「子育てサポーター養成セミナー」など、幅広く市民活動を展開しています。



食事の前に、自然を敬い、いただいた命（食べ物）を無駄にしないアイヌの人々の絵本の読み聞かせをします（左）
20名以上の参加者となったこの日の地域食堂では、おかわりが相次いでいました

みんなでつながり 助け合う地域づくり

産後ケア「やわらかい風」（通称「やわ風」）代表の川口映子さんは、山口県出身で、看護師を目指して鳥取大学の現医学部保健学科に入学しました。学生結婚で赤ちゃんと恵まれましたが、生まれつき障がいがあり、預ける保育所が見つからず困っていたところ、近所の二人の方が預かって



築80年の古民家を活用したやわ風の拠点



代表の川口映子さん

てくれたおかげで、無事卒業でき国家試験に合格して看護師になりました。その後、鳥取市内の医療機関に席を置き、アジアの国々に短期で医療支援に赴きましたが、どの国も厳しい環境の中で、多くの命が失われている現状を目の当たりにしました。日本は、世界でもっとも赤ちゃんが安全に生まれる国ではありませんが、産後女性の死亡原因の第1位が自死であることは知られています。川口さんは「産後に自死で命を落とす女性を一人でも多く助きたい、このへ子育て王国とつとめから産後うつで苦



しむ女性を無くしたい」という思いで、産後ケア施設を立ち上げました。



そんな道程を経て開設されたやわ風を足場に、みんなつながり、助け合い、今住む街を好きになろうと、さまざまな市民活動に取り組んでいます。

地域の人たちが 自然体で集える場所を

やわ風の界限は、いつもは静かな住宅地ですが、毎月第3土曜日に開催されてきた「地域感謝オープンデー」ばかりは、町内会の人たちと子どもたちの笑い声や赤ちゃんの泣き声が響きます。ピザ窯でピザを焼いたり、リサイクルバザーをしたり、遠くは倉吉からボランティアに来てくれる人もいます。また、鳥取大学や鳥取環境大学の学生をはじめ、高校生のボランティア

配膳の準備をする有志の会「わいわい広場」のメンバー（右）。この日のメニューは「かき揚げうどん」とサラダに、希望者にはおにぎりが配られました（上）

鳥取県ボラセン
キャラクター
「はーちゃん」



裏庭に設置されたピザ
窯で、ボランティアがピ
ザ作りに奮闘します



「地域感謝オープンデー」のやわ風「春祭り」での参加者たちと
記念のワンシーン



第1回目の「子育てサポーター養成講座」のワンシーン

多い時で30人以上が訪れる食堂は、子どもは無料、大人は400円で、そのお金で足りない食材を購入しています。また、食材の多くを地域の方からの寄付で賄っており、家庭菜園で採れた新鮮野菜を届けてくれる人たちが、食材を提供してくれる会社などに恵まれ、調理師免許を持つボランティア3人が、食材の味を活かした美味しい食事を作ってくれます。



長いおつきあいの河本千香子さん

参加もあり、福笑いや独楽回しなどの「昔の遊び復活」や絵本の読み聞かせなど、様々な年代の男女が協力しながら、自分にできることをやっています。現在は、本業の産後ケア施設の業務が忙しくなり、季節ごとの春祭り・夏祭りとして開催しています。

また、毎月最終金曜日の夕方から開かれる地域食堂「さいきんどうですか食堂」は、女性ボランティア6名で食堂を運営しています。メンバーは、やわ風の活動に共感する人たちで、開設当初からの協力者である河本千香子さんは「みんなが仲間として感じ、家族のようなつながりもあり、自分たちも一緒に楽しむための居場所づくりにあります」と笑顔で話します。

自分ができること、好きな ことで地域をより良く

子育てに負担感を抱いている女性を地域でサポートできないかと、2024年に講師を招いて初めて開催した「子育てサポーター養成セミナー」は大変好評でした。子育てサポーターは、子育ての技術や手技を学ぶだけでなく、自分を知り、相手を知る、思いやりの気持が大切です。川口さんは、ボランティア活動をすることで、自分自身について深く知ることができると考えており、ひいては地域全体で産み育てるやさしい地域の構築の可能性にもなることから、今年2回目の開催を予定しています。

この日、鳥取大学地域学部4年生の丹下絢美さんと榎本楓さんが、地域食堂にボランティアとして訪れていました。二人とも1年生の時から関わりで、丹下さんは「今までと違う人のつながりを知り、地域の中に自分から入り、つながりをつくっていきたいと思うようになりました」と話します。榎本さんは「保育士を目指しており、子どもたちとかかわりが持てるので役立つと思って参加してきましたが、年齢に関係なくつながりが築けるボランティア活動が好きなんだな」と自覚しましたと、二人は人のつながっていくことの楽しさと大切さを感じているようです。

「すべての人が、その人にしかない役割を持っています。これまでボラ

産後ケア やわらかい風

鳥取県鳥取市馬場町13-1

代表者：川口 映子

電話 0857-20-3941 FAX 0857-20-3941

携帯電話 080-3210-7949

HP: <http://yawakaze.org>

E-mail: yawakaze.t@gmail.com

川口さんたちは、県の委託を受けて「とっとり妊娠SOS」という相談窓口を開設しています。また「夜泣きっ子合宿」、おしゃべり交流会「産後ケアカフェ」、「いい風呂の日」など、赤ちゃんとお母さんを支援する活動も多彩です。詳しくは、やわ風にお問い合わせください。

「ボランティアは、生活に余裕のある人、時間のある人ができるものだと思うていましたが、やわ風に手伝いに来てくれる人たちを見て、そうではないと学びました。ボランティア活動とは、自分ができること、得意なこと、好きなことで、地域社会を変えていく小さくても大きなエネルギーの源だと感じています」と、川口さんのパワーを感じさせる言葉です。



ボランティアで訪れた鳥取大学4年生の丹下絢美さん
(左)と榎本楓さん

第1回 因伯ねんりんピック

つながる笑顔、広がる元気



平井知事へ選手宣誓(開会式にて)

今年度から新たにスタートした「因伯ねんりんピック」は、昨年鳥取県で初めて開催され成功裏に終わった「第36回全国健康福祉祭」とり大会」のレガシーを引き継ぎ、県内高齢者のスポーツ等競技の最高峰となる大会です。

4月26日(土)、平井知事の出席のもと、開会式を盛大に開催いたしました。翌27日(日)から5月24日(土)にかけては、どらドラパーク米子や米子ふれあいの里などの県西部を中心とした各会場にて、「第1回因伯ねんりんピック」を開

催いたしました。

今回の大会は、昨年まで実施していた「因伯シルバー大会」の卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、弓道、グラウンドゴルフ、囲碁、将棋、健康マージャンにボウリングが新たに加わり13種目の競技を行い、1116人の方が楽しく交流や親睦を深めました。

初日(4月27日)に淀江スポーツ広場で行われたゲートボールは、昨年より多い63人が参加され、最高齢者の秦豊(はだ ゆたか)さんも元気にプレーされました。

優勝した米子東チームは、平均年齢81歳でしたが、パワーのある打球を打ち込んでいました。

13種目のなかで、トリを飾った健康マージャンは人気が高く、参加申し込みが、既に昨年度末には定員に達しそのあとの申し込みの方をお断りせざるをえませんでした。

来年の大会も多くの参加をお待ちしています。

ゲートボール大会で最高齢者賞受賞の秦さん



申込多数の健康マージャン大会



弓道大会



初種目のボウリング大会



卓球大会

地域の安全をみんなの力で

地元米子市河崎地域で安全パトロール隊として活動しております。塚田佳充さんを紹介いたします。



塚田佳充さん

その地道な活動に共感し、志願してパト隊に入隊されたのが、塚田佳充さんです。塚田さんは、米子市交通安全指導員の活動も兼務されるようになりました。交通安全指導員は、主に小学校に通う子どもやお年寄りに対して、交通指導や安全教育、啓発活動をおこなっています。その活動は地域の交通安全に貢献し、通学路での子どもの保護や誘導も

いきいきシニア

ことぶきレポーターの取材より

県内の素敵な高齢者を同世代のことぶきレポーターが取材をします。「シニア」の「シニア」によるシリーズ。地域で頑張っている人、生きがいをもって暮らしている人など高齢者の魅力を余すことなくご紹介します。



します。私も所属している安全パトロール隊は、我々仲間うちでは親しみを込めて「パト隊」と呼んでいます。パト隊は、犯罪を減らすために、地域の皆さんが協力して防犯パトロールなどの活動を行うものです。

地域全体で力を合わせ、犯罪を防ぐ仕組みを強化し、誰もが安心して暮らせる安全な街をつくらうとしています。

行います。何か催事があれば、街頭指導や広報活動を行うこともあります。児童の登校時、そして、米子市全体の見守りも視野を広げて活動しています。車の誘導、児童の見守り、朝の挨拶等を行い、毎日の活動としています。

塚田さんは、そんな充実した多忙な毎日を過ごされていますが、何事も実行するには、第一に健康である事、そして家庭



交通安全指導員の活動



思います。活動を通じて、皆さんに、役立つ事を続けていけるように活動に励もうと思います。

取材を終えて一言
岡田 信行さん(米子市)
塚田さんの「世の為人の為」に心血を注がれている姿を見て、感動いたしました。私も今後もボランティア活動を通じ、皆さんに、役立つ事を続けていけるように活動に励もうと思います。

内・周辺の理解などを得ることが、とても大事とお話されました。



安全パトロール隊の活動

ボラ活で、まちとつながる、じぶんが変わる

とっとりボランティアバンクPR動画を作成しました！

鳥取県ボランティア・市民活動センターでは、ボランティア活動をしたい個人・団体、ボランティアを募集したい団体が登録する「とっとりボランティアバンク」を運営しています。

この度、学生を始めとした若い世代の方のボランティア活動推進のため、ひいてはバンク登録促進のため、鳥取看護大学・鳥取短期大学・公立鳥取環境大学の学生の参加を得てPR動画を作成しました。

学生によるボランティア活動の実際の様子や活動始めるにあたってのQ&Aなど交えた全4本の動画で、現在鳥取県社会福祉協議会のYouTubeチャンネルで絶賛公開中です。

ぜひご覧ください。

日本遺産でボラ活やってみた三徳山編

<https://youtu.be/MgyaXicFsNE>



地域とつながるボラ活 マルシェ編

<https://youtu.be/dIHq-tXwN4>



教えては一ちゃん！ボランティア活動のあれこれ

<https://youtu.be/4cFMOnXV7ww>



とっとりボランティアバンクに登録しよう

<https://youtu.be/bpb4McelNas>



とっとりボランティアバンクにご登録ください

ボランティア

の力を
借りたい
を
してみたい

そんなときは…
とっとり
ボランティア
バンクに

ご登録
ください！



誰かのために
力になりたい

ボランティア
したいけどどこで
募集してるの？

ボランティアと
一緒に地域を
元気にしたい

ボランティアの
力を借りたい

ボランティアバンクでは
こんなお手伝いをします

ボランティアの 活動調整

ボランティアを募集する
方と、活動する方との調
整を行います。

ボランティア活動 に関する相談受付

ボランティア活動に関す
る困りごと、お悩み、助成
金の申請方法など、何で
もご相談ください。

ボランティア活動 に関する情報提供 (メルマガ)

登録された方に、ボラン
ティア募集やボランティ
アに関する講座・研修な
どの情報をメールなど
で提供します。

ボランティアバンクに
登録いただくと…



ボランティア
したい人
(団体)

県内外のボランティ
ア募集やボランティ
ア関連講座・研修な
どの情報を受け取る
ことができます。



ボランティアの
力を借りたい
団体

とっとりボランティア
バンクのHPやメル
マガを通じてボラン
ティア募集やボラン
ティア関連講座・研修
などの情報を発信で
きます。

登録したいと思ったら…

下記ホームページから登録いただくか、登録票に必要事項を記入のうえ、ファクシミリもしくはEメール、郵送にて送付してください。登録票は下記ホームページからダウンロードいただくか、お問い合わせ先にご連絡ください。

ホームページアドレス <https://www.torivc.jp/>



令和7年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン
保険金の種類			
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)
	入院保険金日額		6,500円
	手術保険金	入院中の手術	65,000円
		外来の手術	32,500円
	通院保険金日額		4,000円
地震・噴火・津波による死傷		×	○
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円

商品パンフレットは
コチラから(ふくしの保険
ホームページ)

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆中途でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

HOTeyeギャラリー

鳥取ユニバーサルスポーツセンターノバリア 紹介④



鳥取ユニバーサルスポーツセンターノバリアは2025年7月にオープンから5年を迎えます。お陰様で、のべ約6万人の方にご利用いただきました。まことにありがとうございます。今後も皆様に喜んでいただける施設運営に励む所存です。

さて今回は館内施設のひとつである、「マルチルーム」のご紹介です。メインアリーナとなるスポーツ広場とトレーニングルームの間に配置されており、最大30人規模の研修会や会議・ストレッチ運動やダンス練習などを行う場所として、文字どおり多様な使用が可能となっております。

ご利用の際に障がいの有無は問いませんし、スポーツ利用以外の用途にも対応しておりますので、お気軽にお問い合わせいただければと思います。

電話 (0857) 50-1091

営業時間 午前9時30分～午後8時30分

※火曜日(火曜日が祝日の際は翌水曜日)及び年末年始(12月29日～1月3日)は定休日

【カローリングについて】

「カローリング」は、カナダや北欧の国々で親しまれている氷上のスポーツ<カーリング>からヒントを得て1993年に愛知県名古屋市で誕生したインドアスポーツであり、子どもから高齢者まで年齢・性別・体力に関係なく、そして障がいの有無を問わず気軽にプレーできます。

スポーツセンター・体育館・公民館・オフィスなど身近な施設のフロア(床面)を利

用するため、天候に左右されません。味方チームのジェットローラーを的であるポイントゾーンに近づけたり、相手チームのジェットローラーを弾き飛ばして最後の1投で大逆転もあり、とてもスリリングなスポーツです。

また、プレーする方の状況に合わせてルールを調整することも可能です。

みなさんもぜひ体験してみてください。



カローリング

社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5(県立福祉人材研修センター内)

URL <https://www.tottori-wel.or.jp> e-mail soumu@tottori-wel.or.jp



◀鳥取県
社会福祉協議会
ホームページ

福祉人材の
確保・育成・定着
を支援します

鳥取県福祉人材センター

TEL.0857-59-6336 FAX.0857-59-6341
e-mail jinzai@tottori-wel.or.jp



◀福祉人材センター
インスタグラム
公式アカウント

ボランティア活動の
幅を広げる
活動を応援します

鳥取県ボランティア・市民活動センター

TEL.0857-59-6344 FAX.0857-59-6341
e-mail vc@tottori-wel.or.jp

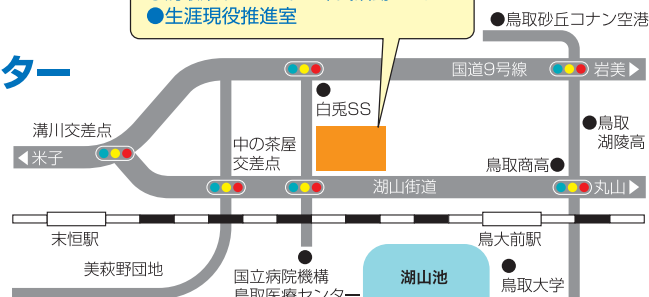
元気な高齢者の
生きがい・社会貢献
を支援します

明るい長寿社会づくり推進事業担当

TEL.0857-59-6338 FAX.0857-59-6340
e-mail kototori@tottori-wel.or.jp

県立福祉人材研修センター

- 鳥取県福祉人材センター
- 鳥取県ボランティア・市民活動センター
- 生涯現役推進室



本誌について、また、福祉に関することについて
県民のみなさまからの御意見をお寄せください。



「ホットアイ119号」
アンケート回答フォーム

「HOTeye ホットアイ」第119号／令和7年7月発行

発行／社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会 〒689-0201 鳥取市伏野1729-5(県立福祉人材研修センター内) TEL.0857-59-6331 FAX.0857-59-6340

印刷／日ノ丸印刷株式会社